

みあさ美づくり通信 No.46

北アルプスを望む麻の里 Miasa Community Design 2014年 8月号



2014大町美麻 ロードレース大会開催

「全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ第4戦」

全国より250余のエントリを頂きレースを無事終了する事が出来ました。過酷なコース設定のうえ雨に悩まされた一日でした。クラス3終了までは何とか持ちこたえたもののクラス1+2スタート開始より雨が降り始めなんと最終ゴールまで降り続き来ました。

こんな悪条件の中最終ゴールめざしひたすら走った選手の皆さんお疲れ様でした。立証ボランティアの皆さん雨で寒い中最後までご努力を頂き有難う御座いました。公共の場を使うという事で地元住民の皆様には大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。また長野県をはじめとし各所・署・市庁の皆様

の多大なる御協力を頂き感謝申し上げます。毎回協賛頂いております皆様には今回も多大な協賛金・協賛品を頂き心より御礼申し上げます。ロードレースといえば大町市美麻と言われるような環境づくりに向かって努力していくつもりでありますのでまた来年も宜しくお願いいたします。

(実行委員長 合津富吉)



大会の様子は、広報おおまち8月号でも大きく取り上げられました。



美麻地区合併10年 記念地域公募事業 が決定しました

今年の大町市は、市制施行60周年、合併10年記念として、1年を通じて様々なイベントが開催されています。

美麻地域づくり会議では、合併10年の節目を住民自治活動を促進に活用していくために、8月30日に開催される美麻夏祭に加え、住民の自発的、自主的な地域づくり活動をいっそう発展させることを目的に、記念事業の公募を行ったところ、8件の応募がありました。7月28日に審査会を開催し、6件の事業を決定しました。

決定した事業は次の通りです。なお、惜しくも選に漏れた事業についても、今後、会員活動支援事業により、実現を支援していくことになりました。



事業名	事業の概要
大塩区民交流会	地区の祭典で祭囃子の競演を行うなど区民の更なる絆を強め、未来を生きる子供たちに故郷の良さと愛着心を育てる。
コミュニティスクール開校記念地域交流事業	地域との交流と親睦を深めるイベント開催による、ボランティア登録者の増加。
千見神楽囃子継承事業	子供たちの要望を受け、伝統芸能を次世代に継承し地区を元気にする。
千見獅子舞継承事業	小中学校市民科授業を契機に、地区の獅子舞を復活させる。
みんなそろって法被でハッピー交流会事業	水上神社の祭り後継者育成と地域の一体感を醸成する交流会の開催。
新行区民交流会	合併記念地区交流会を開催により地区住民の交流と親睦を深め、伝統行事の継承を計る。

千見地区獅子舞復活に向けて



8月14日千見地区高齢者センターで、千見自治会が「大町市合併10周年記念事業」として地域づくり会議が募集した助成金で購入した太鼓や笛のお披露目会と練習の披露がありました。

この事業は、美麻小中学校の市民科の7年生たちが獅子舞の指導をお願いし、3名の地域の方が指導を始めたことがきっかけとなり、以前より希望があった千見地区のお祭りの道中囃子復活などの思いが重なって実現した。

高齢化や人口減少により長年この地区の、獅子舞や道中囃子の演奏は途絶えており、今回指導に当たるために練習をし、指導のための資料作りも新たに行ったという。

指導を受けている7年生たちはまず、8月30日の「美麻夏祭り」で獅子舞の一部を披露をし、その後も「梨の木祭」や「地区文化祭」での披露を目指して練習を続ける。千見地区の松下自治会長の話では、千見地区では、地区の子供たちと来年平成27年の10月の秋祭りを目指してさらに練習を続けるとのこと。獅子舞の演奏演技はなかなか難易度が高く難しそうだが、この機会にぜひ地域の伝統文化を継承し復活してほしいものだ。



(取材 広報部会 前川浩一)

小規模学校特認校 制度導入に向けて



現在の美麻小中学校の全校児童生徒数は82名と少人数です。2年生は1クラスに3名の児童しかいません。来年度入学生も現在のところ3名程度の予定です。つまり年々学校の児童生徒数が減少していく状態です。

そこで市教育委員会では、美麻小中学校の学区を美麻地区だけでなく大町市全域に広げる特認校制度を取り入れることにしました。大町市内在住の児童生徒で、美麻小中学校で学びたいと考える場合に転入学を認めるものです。この制度は来年度から実施予定ですが、9年生(中3)は対象外となります。7月12日(土)には、オープンスクールを実施し、本制度の説明を兼ねて授業公開をしました。

来年度は、本制度を活用して転入学する児童生徒が在籍することになるかもしれません。地域の皆様もお知り合いで興味をもたれる方がいましたら、ご紹介いただければ幸いです。

(副校長 塩島 学)

オープンスクールに参加して

美麻小オープンスクールに参加して感動しました。

息子の学校についてとても悩んでいた時だったので...学校にふれ子ども達にふれ...先生方にふれ...とても暖かさを感じました。校長先生がキチンと私の話を聞いて下さり我が子の為にベストの環境を整えて下さるとおっしゃって下さり驚きました。美麻小の規模だから...対応できるのでしょうか?校長先生が変わっ

ても今の教育方針は変わらないところも魅力に感じました。何より息子が楽しんで参加している姿嬉しかったです。(参加者より)



支援ボランティアと花壇整備



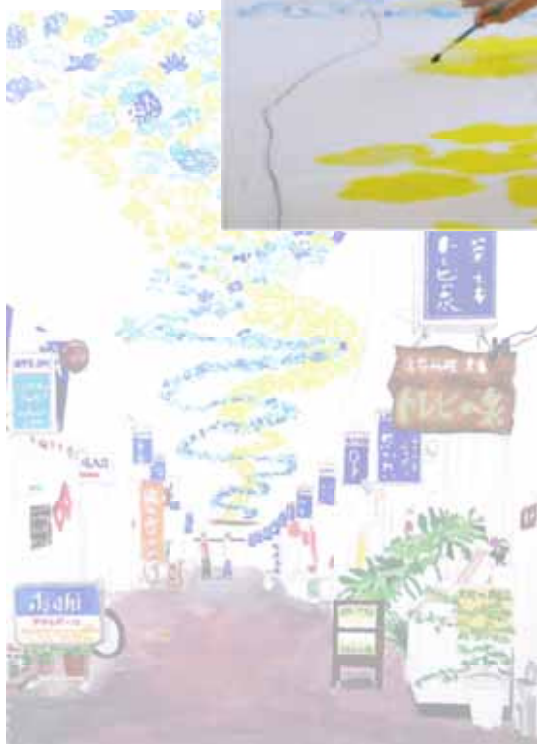
今年は学校支援ボランティア地域部のみなさんが学校花壇の苗の定植や草取りと一緒に参加してくださいました。細かい雑草まできれいにとっていただき、作業の丁寧さを学ぶことができました。また、花の苗を提供いただくなど、地域のみなさんに支えられて花壇づくりが行われています。

(環境委員会委員長 9年 大塚歩夢)

原始感覚美術祭の ワークショップに参加して



長い白い布に描かれている青い花。それはまるで海のように。青い花の間が児童・生徒たちが描く鮮やかな黄色やオレンジ色の花で埋め尽くされていく。無心で描くことで1枚の布に命が吹き込まれる。まさに原始感覚！描くっていいなあ。（西澤さつき）



木崎湖畔や大町市街地等を会場に開催されている「信濃の国原始感覚美術祭 - 水のうたがき」に参加されている青島左門さんの作品制作のワークショップに子供たちが参加し、7月22日に体育館で大町名店街のアーケードに飾る天井絵を作成しました。

作品は、大町名店街でご覧いただくことができます。

信濃の国原始感覚美術祭2014
～水のうたがき
開催期間：2014年8月2日[土]
～9月7日[日]
開催地：木崎湖畔、大町市街、大町温泉郷、美麻、西丸震哉記念館
主催 原始感覚美術祭実行委員会



ワークショップの様子は、8月4日に新聞の特集記事として取り上げられました。

だいまる君の夏休み in やまびこまつり

今年も美麻連は、子供からお年寄りまで100名を超える地区の皆さんから参加いただきました。美麻のゆるキャラ『麻野だいまる君』も初参加し大いに盛り上がりました。

だいまる君に『やまびこまつり』に参加した感想を聞いてみましょう。

今年初めてやまびこまつりで踊ったよ。雨が降りそうだったけど晴れて良かったなあ。美麻連の仲間達と記念撮影をしていよいよ踊りの始まりだ。

まずはやまびこ音頭だよ、みんな楽しく踊ってるね。やまびこサンバは僕もノリノリで踊ったよ。たくさん踊ってちょっと疲れたから途中で休憩してお茶をいただいたよ。おいしかったなあ。さて又踊ろうと美麻連の仲間達と踊りまくったよ。

僕をアンパンマンと間違えた人がいて面白かったなあ。ケーブルテレビのカメラの前ではしっかりポーズもとったよ。あつという間の二時間だったけどとても楽しかったなあ。

来年もみんなと踊りたいなあ。早く来年にならないかなあ。



住民ディレクター 6年目の新たな挑戦 (インターネットライブ中継)



情報インフラ過疎地域の美麻地区から全世界に向けた情報発信をしようと始めたのが、自転車ロードレース大会のインターネットライブ中継です。競技ルールも知らず、お手本はNHKで放送されていたツール・ド・フランスの番組だけ。そこで目を引いたのが、車載カメラからの迫力ある映像です。「こんな放送ができればスゴイぞ」と思って早6年。

今年のレースでは、自転車競技連盟様のご理

解をいただき、初めて先頭集団を管理する車両に車載カメラを乗せることができました。昨年、国のモデル事業で整備させていただいた機器に加えて、コースの6割以上の地域がLTE回線になり、車載映像を配信できる環境がやっと整ってきました。

車載カメラ映像は、電波状況の良い場所では選手の息遣い、100台以上の自転車の一斉のギアチェンジやブレーキ音など、予想通りの迫力ある映像が配信できました。美麻地区の通信インフラはマダマダ極細で、テレビのようにはいきませんが、情報通信技術は日進月歩です。来年こそは全周回ライブ中継ができるよう準備したいと思います。



多くの皆さんのボランティアな協力と、大会関係者のご理解によりライブ中継を継続できていることに、改めて感謝申し上げます。
(オオマチミアサテレビ)



メンドシーノ交流情報

大町MIASAメンドシーノ アート&クラフトショー2014

アートセンターで行われているアートショーに向けて、作家の皆さんが8月22日～9月1日の日程でメンドシーノに向けて出発しました。今回は8名の作家スタッフで構成され、若手の中には英語力や企画力のある人材もいます。

将来に向け、良い交流が出来る事を願っています。子供達の交流もますます内容が濃くなる事を期待してますし、太鼓製作など芸術交流とこのコラボも期待できますね。



チェルシーさんからの手紙

チェルシーさんはメンドシーノから最近シアトルに引っ越しされたようで近況報告です・・・

お元気ですか？引越しと仕事探して、人生のリズムが見つからない日々が続いていましたが、これからは少し落ち着きそうです。うちの近くの和風居酒屋で面接があって、気に入ってもらえたようなので、給仕の仕事を頑張ります！面白いのが、シェフさんは日本で2年懐石料理を勉強したアメリカ人で、メニューはシアトルの他の和食店に比べて本格的なようです。

目指していたお仕事ではないですが、美味しい料理も食べられるのでいいかなと思っています。



美麻小中学校大運動会 (6/28)



小中学校と保育園共催の校庭運動会が行われました。多くのお客様がお出になり、各種目に活躍する保育園児、児童、生徒の姿に大きなご声援や拍手をいただき、大いに盛り上がりました。特に本年度から設置された学校運営協議会の皆様にも多数お出でいただき、新たなスタートを切った本校の意義を感じる運動会になりました。

した。また、前日、当日の朝はボランティアの保護者の方に準備をお手伝いいただき、最後の片付けは、多くの保護者の皆様がお手伝いくださいました。本当に多くの方々にご協力いただき、すばらしい運動会になりましたこと、心より感謝申し上げます。(美麻小中学校)



運動会リレーの作戦

運動会では私は全校リレーを、とくに頑張りました。勝つために走順を変え、6年生を前に入れたのです。なので本番は3・4年生の中に6年生の私が入りました。なのでリレーでは上位に入れました。

でも直前に変えたので次の人とバトンがうまくいかず、また下位に下がってしまいました。来年はしっかり策をねって、1位になりたいです。(6年 小山あさ)

天候が微妙な感じでしたが、無事に外で開催されました。一番感動したのは組み体操です。この2週間で、1回も外で練習していなかったけど、立ち位置の場所へぱっぱと動けました。塔では、音楽に合わせて登ったり立ったり出来たし、上の三段の人たちも立つことが出て見事に成功!! 本当に嬉しく、達成感があります。心を一つにしたからこそ出来たと思いました。最後の運動会でしたが、思い出に残る運動会になりました。(9年 川田 涼葉)



市道草刈作業へ協力いただき、感謝申し上げます(6/21)



地域づくり会議、地元関係建設業者、美麻支所関係職員のボランティア39名が参加して市道の草刈り作業が行われました。皆さんベテランぞろいなので、猛暑の中ではありませんでしたが、道路まで伸びた草と格闘しながら午前中いっぱい草刈り作業が終わりました。

大勢の皆さんが汗だくになり、作業に取り組んでいたおかげで、市道が見違えるほどきれいになりました。作業にご参加いただいた皆様本当にありがとうございました。



(美麻支所産業建設係)

コミュニティスクールに視察続々(7/29)

塩尻市両小野中学校地区の、教育委員、学校組合議員、公民館、教員などのみなさん16名が、美麻小中学校のコミュニティスクールへの取り組み経過、地域づくり会議の学社融合事業の取り組みなどについての視察に来られました。

美麻公民館で地域づくり会議宮沢会長、美麻学校運営協議会北沢会長と前川スクールコーディネーターが説明、メンドシーノ交流事業などへの質問などに答えました。

最近美麻小中学校のコミュニティスクールへの取り組みが始まったばかりとはいえ大変注目されており、視察や研修への対応が多くあります。(広報部会)

北アルプス奉納太鼓のご案内(9/9)

この奉納太鼓は、シンセサイザー奏者として世界中でご活躍されておられますミュージシャン喜多郎さんの全面的な協力により、「大北地域が元気になれば」と、昨年引き美麻新行地区の丸山公園運動場をお借りして続き開催するものです。

地元はもとより全国から多くの太鼓の仲間が、この地を訪れます。

当日は、夕刻から翌日の朝まで太鼓を鳴らし続けるため、住民の皆様方には大変ご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(北アルプス奉納太鼓実行委員会)

国営アルプスあづみの公園でトレッキング(7/27)

7月27日、森遊びフィールドの大町・松川地区の、森を9mから見下ろせる「空中回廊」から木々の中を歩きました。



ボランティアさんの案内で、森の自然観察体験を満喫しました。あいにく熊の出没で溪流レクリエーションゾーンに行くことができませんでしたが、足を延ばして、堀金・穂高地区の新規オープンした鳥川吊り橋付近の広場、「あづみの学校」で清流に泳ぐイワナやヤマメの魚、高山から平地までの動植物の標本展示、溪流広場など散策し自然・文化・歴史など触れることができました。(美麻公民館)

編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info